



令和5年度「船上山トレッキング」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和5年11月12日(日)

2 日程

8:40	受付
9:00	出合いのつどい
9:30	登山【紅葉を楽しむ東坂コース】 自然の家～東坂駐車場～東坂コース～薄ヶ原～ 船上神社～下山～自然の家
13:45	自然の家到着 豚汁
14:00	解散



3 ねらい 秋の船上山登山を通して、自然と歴史に親しむ。

4 対象 小中学生とその保護者および一般(未就学児を除く) 30名程度

5 応募者数 22組58名

6 当日参加者数 9組23名

7 参加費 1人900円



II 実施状況

■11月12日(日) 天候 曇り

当日朝は厚い雲が空を覆っており、午後から雨の予報であった。野外での活動時間を短縮するため、コースを当初予定していた西坂登山道から東坂登山道に変更しての開催となった。

今回の「船上山トレッキング」では、山頂に向かって行く中で、船上山の美しい紅葉を見ていただきながら、自然や歴史についての解説を聞いていただいた。当日の指導員による解説内容を紹介する。



【鳥居】

- ・普通、鳥居の向こうには神社があるが、この鳥居の向こうにはない。
- ・この鳥居の向こうには船上山がある。
- ・船上山自体が信仰の対象となっている。
- ・「〇〇山(さん)」と名の付く山は、信仰の対象。富士山、三徳山など。

【茶園原入口】

- ・(地図パネルを指して)山頂は平らな野原。
- ・(近くの木を指して)この木はナナカマド。7回かまどにくべても燃えないほど丈夫な木。
- ・赤い実が多くつけば、その年の冬は大雪と言われる。

【東坂駐車場】

- ・後醍醐天皇は80日間も船上山にいた。
- ・「行宮跡」は「あんぐうあと」と読む。
- ・国指定史跡にするように推薦したのは渋沢栄一氏。



【駕籠立て場】

- ・後醍醐天皇の足跡を簡潔に述べると、京都で争いに敗れて隠岐の島に流される。その後、現在の鳥取県(旧名和町)に戻ってきて、船上山に登って兵を挙げ、幕府軍を倒して再び天皇の政治が始まる、となる。
- ・天皇ほどの人物になると、自力で山を登ったり下りたりしない。では、どのように登り下りしたのだろうか。
- ・後醍醐天皇は、名和長年という人物に背負われて登り、駕籠に乗って下りたと伝えられている。
- ・(看板を指して)ここは駕籠を置いて休んだ場所と言われている。

【東坂登山道 中腹】

- ・ここから日本海が見える。
- ・条件が揃えば、隠岐の島が見えることもある。
- ・雨が降って空気中の塵が落ちた後などは、よく見えることが多い。
- ・後醍醐天皇もここから隠岐の島を眺めて懐かしんだかもしれない。



【金明水】

- ・(カーブ内側の木を指して)この木のあたりに「金明水」と言われる湧き水が出ている。
- ・船上山は山だが、山頂付近にも湧き水が多い。これも天皇が80日間も生活することができた理由の一つ。

11時過ぎ、山頂に到着。当初は船上神社まで行ってから昼食という予定であった。しかし、気温が低く、雨の心配もあったため、小屋で昼食を取ることにした。肩を寄せ合って弁当を囲む中で、参加した家族同士で談笑しあう様子が見られた。

11時50分頃、この日の最終目的地である船上神社に向けて出発。意気揚々と歩みを進めていたが、神社まであと数分の地点まで行くと、驚いたことに巨大な倒木が横たわっていた。この倒木の影響で残念ながら船上神社に行くことはできなくなり、山頂に向かって引き返すこととなってしまった。

山頂に戻って記念写真を撮影し、12時30分頃に下山を開始。地面が滑りやすい様子であったが、参加者同士で声を掛け合って安全に下山しようとする姿が見られた。なお、下山中も指導員による自然・歴史解説を実施した。



【行宮碑】

- ・この石碑は大正時代に建てられたもの。天皇がかつて船上山にいたことを伝えている。
- ・この裏に、同じ碑が倒れている。これはある自然災害が原因で倒れ、代わりにもう一度作られたと言われている。どんな自然災害だろうか。
- ・正解は、山火事。

【東坂駐車場・復路】

- ・(枯れ木を指して)あの木のように、山側にはほとんど枝がなく、谷側ばかりに枝を伸ばしている木が多くある。なぜだろうか。
- ・風が原因だと予想している。山から吹く風のために、山側の枝は伸びにくいのではないか。

13時45分頃、自然の家に帰着。参加者全員が揃って全体の場で指導員が話をしているところで、それまで持ちこたえていた雨がついに降り出した。登山中に降られなくてよかった、と参加者も指導員も胸を撫で下ろした。

最後に、参加者に食堂で豚汁を提供した。肌寒い屋外から戻ってきての暖かい部屋での豚汁は参加者に大好評で、何度もおかわりをする方もおられたほどである。帰り際、疲れているはずの参加者が口々に「ありがとうございました!」とさわやかなあいさつをして帰って行かれる姿が大変印象的だった。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者9組 組ごとにアンケート 回収率100%)

事業全体の満足度：満足8組 やや満足1組)

《参加者の感想》(抜粋)

- ・ 雨が心配でしたが、大して降らずにすみ、良かったです。途中で説明があり、船上山の歴史を知ることができて良かったです。次は天気の良い時に登ってみたいです。(大人)
- ・ 秋の自然を感じられて、とても楽しかったです。お弁当、飲み物、豚汁まで用意していただき、とてもおいしかったです。ごちそうさまでした。来年も同じ企画があればぜひ参加して神社まで行ってみたいです。ありがとうございました。(大人)
- ・ みみずや虫はいたけど、けしきもよかったし、ハートの石、おもしろいしぜんもあつたし、とってもいいと思います。(子ども)

2 成果

- ・ 指導員の解説が好評だった。
- ・ 歩くペースが小さい子に配慮されており、無理がなかった。
- ・ 天候不順によるコース等の変更は適切であった。

3 課題

- ・ 今回の参加者数(23人)なら山頂小屋で同時に昼食をとれるが、多くなると難しい。
- ・ 参加者同士の交流を図るために、短時間で簡単にでも班ごとにあいさつをする時間を設ければよかった。